

---

test(**ドラゴンシュートラーゼ×ペルゾンバレット**)

有田志音

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

test (ドラゴンシエトラーゼxペルゾンバレット)

### 【Nコード】

N5358T

### 【作者名】

有田志音

### 【あらすじ】

投稿テスト用の全2編の作品です。

未来、東京と関西に生じた異変は、凄惨なものだった。

## 前編（前書き）

ひたすらテスト用です。

## 前編

1・A・C・2096-TOKYO-

しん、と静まり返る機内。耳に入ってくるのは載っている高速への爆音と、撃鉄が震え、怯える音だけだ。

「いいか、気を確かに持て！我が首都が滅びたわけではない！」

その女声に、緊張が走り、震えが止まる。

「そしてまたア、そのような事態にも、毅然として対処するのが我々だ、！」

ズン、と腹に来る衝撃が敵の来襲を告げる。

「敵は目前、見間違うこともあるまい！奴らに見せてやれ！われらの対竜装甲の威力をオ！」

グラリ、機体が歪む。

が、否、彼らの瞳に怯えはない。ただただ冷たく、そして祖国を蹂躪された怒りだけがある。

うん、と女隊長は頷き、後部ハッチを蹴破った。

2・A・C・2082-KANSAI-

8月15日、奇しくも旧太平洋戦争終戦日と同じ日、第2次日中戦争の休戦協定が結ばれたとされた。2年前、中国が一方的に宣戦し、沖縄に上陸した二百万人の兵士を前に降伏も叫ばれたが、しかし政府はそれを認めず、徹底抗戦・領土死守を掲げ、それを打ち破った。協定はその勝利が勝ち得たものだった。

あちこちで歓声が起こり、祭りが如く灯がともった、昨日まで統制と不安で真つ暗闇だった町に。町は一気に活気が宿り大戦前のにぎやかさに迫るものがあるといまわしめるほどに、民衆は喜び沸いた。

商人の集う『天下の台所』関西であるならなおさらだ。

ある者らは抱き合ってその生の喜びを噛締め、またある者はそれ

を体現するために道頓堀川に飛び込んだ。犬までもが喜びに吠え、子供は無邪気にはしゃいだ。

が、半日もせぬ間、それらは消し飛んだ。

3・A・C・2096・TOKYO・

『先生ツ、こちらB班捕捉網とデコイの設置完了を報告します』

『本隊了解。あと今の私は先生ではない。隊長だ、いいな』

『もうしわけありません。隊長、つつしんで訂正いたします』

まだ幼い声がノイズ混じりの無線機から鳴る。そして自然と溜息が漏れた。が、彼らのようなまだ年端もいかぬわずか16歳の少女らを動員していることに感傷している暇はない。

ぐいと気を引き締め、各部の状況報告させる。

『E班、避難民保護完了』

『C班、道路封鎖・避難誘導完了』

『A、D班はどうしたあツ』焦燥か、声が荒くなってしまふ。

『ドイツ、、、D班、道路封、……完了』

『A本隊、各員配置につきました』

ちょうどその時を待ってたかのように咆哮と何かを破壊し続ける轟音が響いてくる。

前方手前の隊員が叫ぶ。

『竜だあああ　　!!』

それを引き金に、一斉に82式高速機関砲が火を吹き上げる。だがこちらに弾切れが迫ってもその動きは止まらない。体中のあちこちから血を滴らせながら、より速度を増して突っ込んでくる。

猛然と進んでくる竜を前に、前衛隊の損害は大きいと思いつつも内心ほくそ笑む。そして、

『いまだっ!!!!!!!!!!』

4 . A . C . 2 0 8 2 - K A N S A I -  
水爆が落ちた。

死者766万人、

2次・3次被曝者多数（計測不可）、

経済損失数百兆円規模、

放射能飛散範囲・大阪を中心とする半径700キロ、  
クレーター規模・大阪を中心とする半径200キロ。

数日間降り続いた黒い雨ののち、奇妙なものが観測された。

どの生態系にも属さない・どの生物にも当てはまらない・体内に莫  
大な放射能を自ら吸収／保有する、”モノ”。それが竜。

後編（前書き）

懲りずに後編。

## 後編

5・A・C・2096-TOKYO-

捕縛網がバチンという音とともに落とされ、無数の催涙弾、発炎筒が投げ込まれる。続いて咆哮。

しかしそれも2分もたたぬうちに消え失せる。

静寂。

沈黙。

…、

「……いいよっしやあああああああ……」  
「……！！！！！！」

歡喜。

はたと気付けば、立ち尽くす自分は、無限の虚無と、それを超える達成感が胸を踊っていた。そしてしなければならぬことを思い出す。胸ポケットから携帯電話を取り出した。

「私だ。え？ああ、第909機動隊長・光澄美<sup>かすみ</sup>、任務完了、帰投する。竜は、…竜は掃討した。繰り返す。竜は掃討した」

ゆっくりと顔から携帯電話を離すと、眼前、手を取り合って喜びあう”こどもたち”をみつめ、その先の、網にその巨体を縛りつけられて生気を失い動こうとしない”ソレ”を睨む。

沸々と怒りがこみ上げてきた。

こいつさえいなければ、彼らは命を削って戦いに臨まずに済んだのに。



こいつさえいなければ、和義親王殿下は 兄上は、あんな亡くなり方をしなかったのに。

こいつさえいなければ、我が国民はこんな憂き目を遭わずに済んだのに。

こいつさえいなければ、

こいつさえ……………、

……………、

……………、

…。

「 えっ、……………、 か、光澄<sup>かすみ</sup>美内親王殿下あッ! 」

背中にかけられる幼げな少女の声に、我に返る。

「 あ、ああ、ごめんごめん。少し考え事を、ね 」

そう、振り向いた。が、声の主はそれよりも、

「 あれ、せ、先生。泣いてたんですか? 」

「 え 」

確かに頬をなぞる一筋の水。触ればそれは暖かく、心に宿る何かを湛えていた。それを振りほどくように首を振ると、

「 大丈夫。なんでもないよ。で、どうしたの、奥田さん? 」

「 …… ええ、自衛隊の輸送へりはあと5分ほどで着くそうです 」

奥田は少し不満げそうだが、構わず続ける。

「 私たちが準備しておくことは何かある? 」

奥田もこたえる気がないと察したのか、もう話題を聞き返そうとせずに、

「 いえ、特に何も。強いて言えば生き返らないように見張っておくこと、ですかねえ 」

ややおどけた口調で答えてくる。それに自然と笑みがこぼれてくる。

「わかった」

捕縛網がかすかに動いた気がした。

6・A・C・2083 - KANSAI -

年が変わって、旧政権は莫大な投資と救助作戦を実行したに関わらず圧倒的な放射能を前に芳しい結果を残せず倒れ、薄情にもその直前で関西地方へのまたは関西からの人・物資の移動を禁止し、完全に隔離させた。

だがそれにより、大きなものを見落とした。 竜だ。撤退したことで殲滅されないまま残った凶暴な竜は、九州の一部を除く関西以南を死の街にして、そして、

7・A・C・2096 - TOKYO -

「ごくりうさまでした」

自衛官はそう敬礼する。

周囲は厳戒態勢さながらの装備の自衛隊とその車両が鎮座している。丁度今、『警告・放射性物質搭載』と大きく描かれたトラックに竜が格納されようとしている。

「本当、すごいですねえ……」

先ほどの自衛官が感慨深げにつぶやく。

それは、大きさか、この損害か、それとも？そう聞きたくなる衝動を抑え、何か違う話を振ろうとし、束の間、目を見張った。

突如、トラックの装甲が鉛細工のようにひしゃげ、竜が姿を現した。空を見据えて咆哮したかと思えば反転しこちらを睨みつける。大きく口を開けたと思えば 閃光、が、。

咄嗟に戦車の巨体に身を隠したのが幸いした。一瞬何が起きたか



のおかげで、対竜装甲の開発を加速させ、治安体制の見直し、それに伴う都市計画の変更をも促した。

この場所の隅に、ひっそりと「共同墓地」と刻まれた石碑がある。あれから一か月。つい先日教室で授業を受け、笑い、生きていた生徒が、こんなちっぽけな処に眠っているという感覚が起こらない。

それでも死者を弔うために花を添え、線香をあげていると、

「あ、先生……」

顔を上げれば、奥田も花束と線香を携えて来ていた。

「……」

「……」

交わす言葉が見つからない。

風はさみしく泣いている。

## 後編（後書き）

うわっ……やってしもた。

ご一読、ありがとうございました。

また暇だったら会ってやってください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5358t/>

---

test(ドラゴンシェトラゼ×ペルゾンバレット)

2011年5月26日19時25分発行